



あらかわ一義
市政だより

そくさいかいね

=平成28年・第2回定例会=



発行者 「礎」荒川一義

平成28年7月発行 No.47

E-mail:k-arakawa@nanaonet.jp

市長提案理由説明

▼平成28年・第2回定例会は、平成28年6月16日～6月30日迄の15日間の会期で開催されました。▼はじめに、本年4月14日に発生した熊本地震の一連の地震活動は、発生当初に比べれば減っているものの油断できない状況であり、いまだに収束のめどが立たず、周辺の住民は長期の避難を余儀なくされているとし、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興を願うと致しました。▼当市では、石川県などと連携しながら、被災地への支援物資の提供や医療救護班の派遣を行うと共に、義援金の受付窓口を設置したところ、窓口には市民の皆さまからの心温まるご芳志をいただいております、改めて深く感謝申し上げます。▼いつ落ち着くかも予想できない今回の地震は、国・県などとともに、被災市町村に対しての息の長い支援が必要と感じているとし、本市にあたっては改めて基礎自治体として、近年の災害の発生状況を踏まえ、市民の生命、財産及び生活を守るため、常に防災対策を点検・見直していかなければならないと痛感していると致しました。

▼能越自動車道・七尾氷見道路の全線開通や、北陸新幹線の金沢開業から一年が経過し、ゴールデンウィーク期間中は晴天にも恵まれ、昨年に引き続き多くの方々に七尾へ訪れていただいたとし、中心市街地観光交流センターの花嫁のれん館は、4月9日の開館から2月を経過しましたが、連休中も含め多くの来館者があり、順調な滑り出しとなりました。また、現在整備を進めている中島学童野球場も、まもなく完成する予定であり、7月3日のオープンに向け準備を進めていると致しました。▼今後とも、開通・開業効果を持続し、更なる交流人口の拡大が図られるよう、市民の皆様と共に七尾の魅力の創出に取り組むと決意も新たにいたしました。

▼今定例会は、一般質問の「一問一答方式」5名、「一括方式」10名、計15名が質問に立ち活発な議論が交わされました。▼今議会の概ねについてご報告致します。

■平成28年度6月補正予算の概要(一般会計)

(1)一般会計の補正予算額 7億2,538万9千円の増額

①一般会計6月補正予算の推移

年 度	6月補正予算額	6月補正後予算額	対前年度比
平成28年度	7億2,538万9千円	340億5,973万5千円	+5.9%
平成27年度	1億7,137万2千円	321億5,997万2千円	+1.9%
平成26年度	1億2,334万5千円	315億5,334万5千円	△3.8%

②財源内訳

国庫支出金	2,178万5千円	県支出金	5億764万5千円
寄付金	84万6千円	地方交付税	5,618万7千円
諸収入	710万円	繰入金	1億1,932万6千円
市債	1,250万円		



(2)一般会計の主要事業

(千円)

事業名	事業内容	事業費	担当課
一般コミュニティ助成事業	事業主体：①田鶴浜地域づくり協議会(簡易ステージ整備)及び内容 ②長浦町会(LED防犯灯他備品の整備) ③直津町会(神輿の修繕) 助成金額：①250万円 ②170万円 ③250万円	6,700	ふるさと振興課
合宿等誘致事業	広域連携と官民協働による七尾・中能登移住定住推進事業 スポーツ合宿等の誘致に係る補助(地方創生推進交付金)	19,824	観光交流課
合宿拠点整備事業	和倉温泉運動公園テニスコート更衣室等設計費及び工事費 事業内容：①更衣室・シャワー室 44㎡(管理棟倉庫改修) ②倉庫新設 40㎡	20,000	
地域医療体制充実促進事業	救急告示病院(二次救急病院)に係る運営費の助成 助成対象：社会医療法人団体 董仙会 患寿総合病院	70,234	健康推進課
農業振興総務費	参入企業生産拠点施設整備支援事業 誘致企業(植物工場：金ヶ崎公民館グラウンド)に対する支援 事業主体：(株)バイテックファーム七尾 補助対象：設備工事、建設工事	442,947	農林課
商工振興中小企業指導事業費	七尾港整備・振興促進協議会運営に係る支援 事業対象：七尾商工会議所 事業内容：七尾港整備・振興促進協議会の各種事業事務	5,000	産業振興課
地域活力基盤創造交付金事業	矢田郷 361号線等道路改良事業(国分町地内・七尾中学校周辺) 事業内容：用地購入、道路改良工事	110,477	土木課
河川改良工事	事業箇所：池崎川流域(災害等未然防止事業) 事業内容：雨水貯留施設設置工事 A=2,700㎡ 用地測量、設置工事、用地借上げ	3,059	
小学校再編整備事業	徳田・高階小学校統合移転改修(校舎改修、プール整備等) 事業内容：実施設計(平成28年度)	7,236	教育総務課
消防統合庁舎整備事業	仮称：七尾西消防署開庁に伴う改修工事 事業内容：統合庁舎改修、通信機器移設工事、施工管理	62,863	消防本部 庶務課

(3)特別会計の補正予算額 5,595万2千円の増額

①各会計補正予算の概要

	補正予算額	主な内容
介護保険特別会計	55,952千円	国、県及び支払基金への過年度精算返還金
計	55,952千円	

②特別会計6月補正予算の推移

年 度	6月補正予算額	6月補正後予算額	特別会計の数
平成28年度	5,595万2千円	201億4,784万5千円	8会計
平成27年度	7,624万円	198億3,157万5千円	8会計
平成26年度	5,182万円	189億2,805万9千円	8会計



【議会質問】

■ふるさと納税について



質問…1) 事務代行業務のプロポーザルが実施され、東京の「楽天(株)」が受託予定者となっていますが、これまでの選定の経緯と決定要因を伺います。またこの 14 日、サンライフプラザに於いて返礼品提供事業者の説明会が行われ、15 日からは募集開始となっています。説明会やこれまでの事前説明活動を通じ、事業者の反応やこの事業への期待感をどう捉えているのか伺います。

- 2) 地域で起業・定住を支援するための、地域おこし協力隊を支援しようと、ふるさと納税制度の仕組みを活用し、インターネットを通じて事業資金を集める取り組みが新たにはじまりました。隊員が地域で取組もうとしている事業計画を紹介するサイトを新たに設け、この事の支援を希望する人がふるさと納税制度の仕組みを活用して、隊員が活動している自治体に寄付すると、その自治体から補助金などの形で隊員に資金が提供される仕組みです。起業がしやすくなる事で、任期終了後の協力隊員の定住・定着の促進が期待されますが、この「クラウドファンディング官民連携事業」の導入について見解を伺います。
- 3) ふるさと納税は、特産物を記念品として贈るだけ無ではなく、新たな地域雇用を生む「コミュニティービジネス」に繋がる可能性を秘めています。放置された空家の草刈り掃除や、年に数回風を入れるなど空き家を手入れするサービス。年長いた親に対する定期的な安否確認や状況報告など、一定の家事を援助するサービス。仕事でなかなか帰って来られない方のために、お墓を掃除しお参りを代行するサービスなど様々なサービスが考えられます。地域の核となるコミュニティセンター(地域づくり協議会)がこの機能を担う事により、自分たちが住む地域社会生活の質をあげると共に、地域活動の財源の確保にも繋がるのではないかと思います。こうした郷土愛を醸成する人的サービスは、本来の意味でのふるさとの帰属意識や郷土愛を育むきっかけとなると思いますが見解を伺います。

市長答弁…1) ふるさと納税の制度がうまく行く視点として、事務が煩雑にならなく効率的にこなしていく事や、効果的に制度が運用でき、魅力ある返礼品の企画提案もできればとの思いで、全国から提案を募りプロポーザルを実施しました。選定に当たっては、5月24日に手を挙げた6社から提案を聞き、審査は産業界代表、学識経験者、行政代表の7人で行いました。審査項目は、①魅力ある返礼品の企画提案②効果的な発信力③安定的な運営力④個人情報の厳守⑤受注実績⑥代行手数料⑦商品の販路拡大や観光客の増大に繋がる地域貢献など、これらを要素に入れ審査を行った結果、楽天(株)が選ばれました。また、説明会では市内の観光に係る方々や医療機関に係る方、農林水産分野から56事業者が参加され、事前説明会を行いました。その結果、事業者の反応は良かったと思っており、地域の皆さんの関心度も高いと感じています。いずれにしても、当市の強みである和倉温泉や農林水産品などしっかり販路拡大が出来る様に、観光客や交流人口が拡大し繋がるように、このふるさと納税が一躍を担ってくれたらと期待しています。

2) 国の方では今年度の4月から、地域おこし協力隊が任期終了後の定住・定着を図るため、協力隊の皆さんが起業したい思いを持つ場合に、ふるさと納税制度を使って応援しようと言う仕組みが立ち上がりました。対象は、協力隊員の現職と0Bであり、この事業を活用する場合は協力隊の皆さんは具体的なプランを提案する事が必要です。市では現在、2人の方が七尾で活動しており、今後も起業して七尾に留まっていたいただきたいと思います。この仕組みを活用して支援し移住・定住に繋げていきたいと思っています。楽天(株)には、この事業を取り扱える準備を是非はじめていただく様に支持したところです。

3) ふるさと納税の返礼品に位置づける事は、大変ユニークで良い試みだと思います。寄付された方は七尾ゆかりの方なので、七尾への思いをしっかりと届ける事が出来るサービスだと思います。これを商品化するのは基本的には「地域づくり協議会」が地域限定でしっかりと商品化し、サービスも充実したものに於いて都会にいる方に対してアプローチしていきます。ゆかりの方が盆暮れに帰って来た時にお話しをしながら地域が取り組んで行くと大変面白い仕事ができ、地域の皆さんが地域の活性化のために得た財源は、地域で回していく事に繋がって行けばよいと思っています。是非、地域づくりの皆さんの熟度を高める取り組みをしていただければありがたいと思っています。

《七尾市ふるさと納税と仕組み》

■ふるさと納税とは？

自治体への寄付の事です。2015年4月1日より、個人が2,000円を超える寄付を行った時に、確定申告を
すると住民税のおよそ2割程度が所得税から還付、住民税から控除されます。

■目指す事

- 七尾の取り組みを応援するファンを増やす事。
- 返礼品(魅力発信)による特産品等の販路拡大と観光誘客

■納税の使途(七尾市まち・ひと・しごと創生 総合戦略の4つの柱)

次の各号(①~④)に掲げる施策のいずれかに役立てる。

- ①若い世代が結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる。
- ②七尾市に仕事をつくり、安心して働けるようにする。
- ③七尾市への新しい人の流れをつくる。
- ④時代に合った地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る。



■返礼品

七尾の魅力ある特産品など → 現在、提供事業者の募集中です。1次締め切りは7月29日で返礼品開始予
定は9月1日スタートとなりますが、募集の方は随時受け付けています。

返礼品の区分(返礼品対象の納税金額は10,000円~)		
区分	返礼品の価格(税込)	
1	4,000円相当	・納税額に対する返礼品の割合は5割(送料込)です。 ・40,000円を超える返礼品を応募する場合は、別途、 協議します。
2	8,000円相当	
3	12,000円相当	
4	20,000円相当	
5	40,000円相当	



